

いちのせき

広報

平成21年 2.15 No.82

主な内容

- 一ノ関駅周辺整備
..... P 2~3
- 教育環境整備
..... P 4
- 暮らしの情報
..... P 8~11



子どもたちに伝えたい
「みんなのでやれば何でもできる！」

先日行われた県の「ご当地キャラクターコンテスト」で堂々第3位に輝いた「六魂戦隊ゲイビマン」。それぞれが視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚の五感と第六感に優れた能力を持ち、名勝負鼻を拠点に活躍する6人の戦士たちです。このご当地ヒーローを支えているのが「ゲイビマンプロジェクト委員会」。会長の菊地哲也さんは、キャラクターのコンセプトづくりやホームページによる情報発信などを行っています。

ゲイビマンの前身は、「自分たちが楽しむこと子どもたちに楽しさが伝われば」と長坂保育園の運動会にお父さんたちがタイツ姿で出演した「オジレンジャー」。子どもが卒業しても続けたいのと、父親以外の人にも参加してほしいとの願いから19年12月、菊地さんらが中心となって同委員会を設立。現在は県外も含め会員25人となり、オリジナルのキャラクターや衣装を作成して20年11月、初舞台を踏みました。

14年の水害を機に地域づくりに目を向けるようになった菊地さん。「家や職場が水浸しになり、無力感でいっぱいの中、駆けつけてくれたボランティアがヒーローに思えました」と振り返ります。「仲間とアイデアを出し合うことで、何でも手作りで仕上げてきました。『みんなの力が集まれば何でもできる』ということを子どもたちに伝えたい」とヒーローの活躍を支えます。

「ゲイビマンプロジェクト委員会」会長

菊地哲也さん

東山タイヤ工業所勤務。東山町長坂。43歳
六魂戦隊ゲイビマン公式HP
<http://geibiman.web.fc2.com/>



File 7

一ノ関駅
周辺整備

磐井川堤防改修を まちづくりの好機に

一関遊水地事業の進捗に伴い、国土交通省では今後、磐井川堤防の改修を予定しています。この改修により、堤防沿いの公共施設などの移転改築が必要となつていきます。

市は堤防改修をまちづくりの好機として、一関の顔であるとともに、公共交通機関が連結し市民などが集まりやすい交流拠点としても重要な役割を担っている一ノ関駅周辺に公共施設などを集約し、中心市街地の活性化にもつながる効果的、効率的なまちづくりを、市民との協働の下に進めていくこととしています。

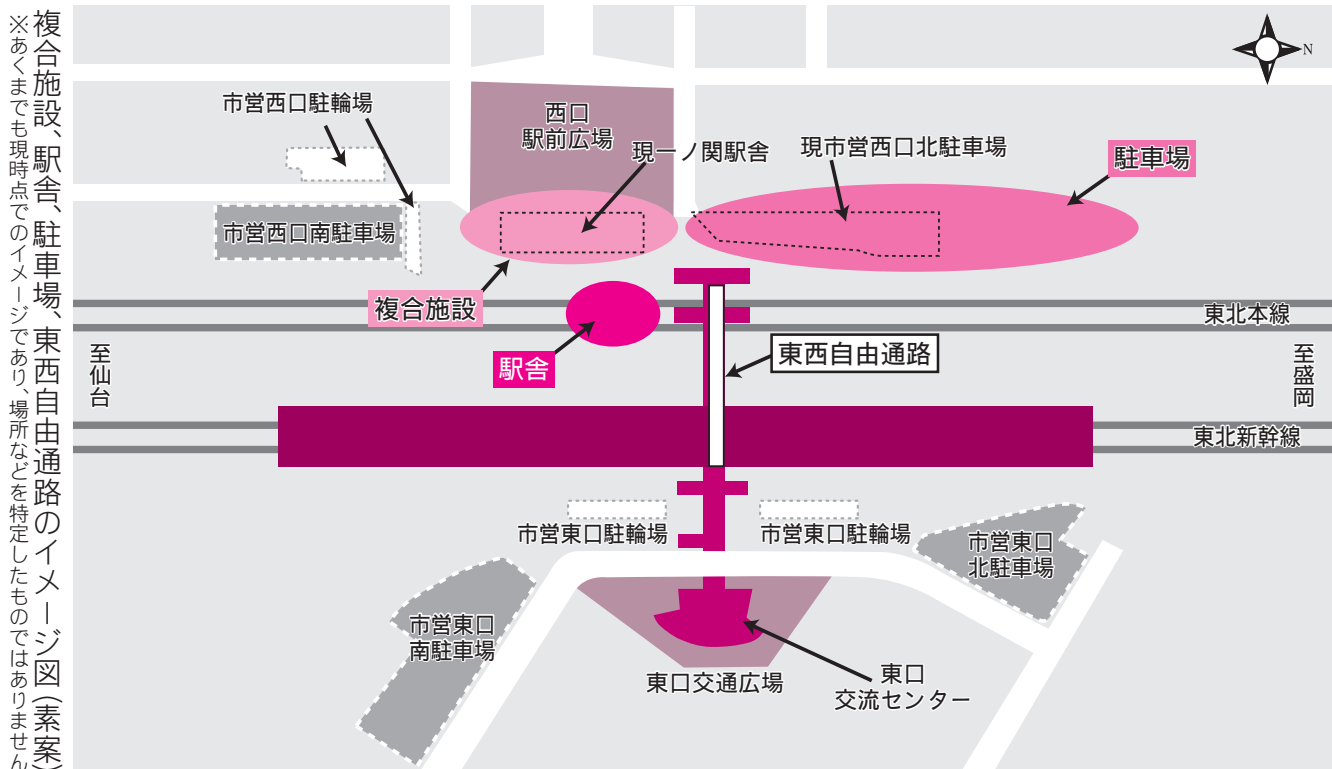
基本構想(素案)作成の取り組み

市は19年7月、磐井川堤防改修計画を受けて「磐井川堤防改修に関わるまちづくり検討委員会」を庁内に設置、公共施設等の再配置などまちづくり基本構想の素案づくりを進め、昨年10月、取りまとめました。

素案では、▽堤防改修に伴い支障を受けない市、国、県の施設なども含め再配置を検討▽維持管理などを考慮し、施設の集約化、複合化を検討―などを基本的な考え方として、公共施設などの現状や再整備の必要性について検討を行い、これらを踏まえ、公共施設などの再配置について、次の四つを基本方針に掲げました。



拠点施設として一層の役割が期待されるJR一ノ関駅



複合施設、駅舎、駐車場、東西自由通路のイメージ図(素案)
※あくまでも現時点でのイメージであり、場所などを特定したものではありません

地の現状調査、概算工事費の算出などを委託しています。

駅周辺整備は26年度完成を予定

駅周辺整備の基本構想は5月末ごろまでにまとめ、引き続き、市民の皆さんと協働で、21年度中をめどにそれに基づく基本計画の策定作業を進めていきます。その後、22年度から基本設計、実施設計を行い、24年度から建築工事に着手、26年度の完成を目指す予定です。

市民との協働で構想づくり推進

現在の素案はあくまでもたた

き台であり、基本構想、基本計画はこれから市民の皆さんの意見、提言をいただきながら、協働で作業を進め完成させていくこととしています。

このため、昨年11月21日と25日に市民懇談会、12月17日には関係団体などとの懇談会を行って素案の概略を説明し、参加者からさまざまな意見、提言をいただきました。

さらに1月26日から「一ノ関駅周辺の整備に関するワークショップ」を開催しています。商工団体や市民活動団体、市内高校生、まちづくりスタッフバンク登録者など49人で構成し、次の四つのワークショップに分かれ



【一ノ関駅周辺の整備に関するワークショップ】
上 一ノ関駅や駅前広場、駐車場などを見て回り、状況を確認しました
下 分野ごとに課題を整理し意見交換。検討の成果は、3月の全体会で発表される予定です

- ①複合施設：公的機能、規模や配置、民間機能の可能性、駅や複合施設利用者の動線など
- ②街なか賑わい：駅や複合施設

- から市民や観光客を街なかに誘導する方策など
- ③都市環境整備：東西自由通路、駅前広場、駐車場・駐輪場、駅周辺の歩行者・自動車の動線など
- ④観光客受け入れ：観光客の利

便性の向上と市内観光地への誘導方策など

「意見・提言をお寄せください」
市では、市民の皆さんの協働により基本構想や基本計画の策定を進めるため、今後もアンケート調査やパブリックコメントの実施など、さまざまな機会をとらえてご意見、ご提言をいただくよう努めていきます。詳細はそのつど広報いちのせきなどでお知らせしますので、積極的な参画をお願いします。

◎問い合わせ先
本庁企画調整課 ☎28641

緊急雇用対策

離職者24人を市臨時職員として採用

昨年12月に設置した市緊急雇用対策本部は、市内企業の雇用調整の状況について聞き取り調査を行いました。

従業員がおおむね20人以上の事業所のうち、1月16日時点で132社(市内製造業の44社)を調査したところ、10月から今年3月末までに人員削減を伴う雇用調整を実施または予定してい

る企業は28社、解雇や契約更新の中止などの雇用調整の人数は846人(希望退職や受注変動による調整分を含む)で、非常に厳しい状況となっております。

市は、離職を余儀なくされた人たちの支援のため、生活資金の借入れや求職に関する相談、住宅のあつせんなどを行っていますが、さらに雇用を支援する

ため、2月1日から3月31日までの2カ月間、24人を臨時職員として採用しました。

職務は、道路パトロール・維持管理作業や除雪関連作業、公民館施設の環境整備、図書館の図書整理、パソコンへの各種データ入力や台帳整備の補助などで、1日8時間、週40時間の勤務となっております。

離職者を対象としたパソコン研修を行います

- 【一関市職業訓練センター(舞川)】
☎7030 ①2月25日②3月10日③3月17日④3月31日
- 【両磐地域職業訓練センター(千厩)】
☎2879 ①2月24日②3月9日③3月12日④3月26日

【共通事項】◇対象：市内に居住し、20年4月以降に離職した非正規社員および会社都合により離職した正社員◇内容：パソコン未経験者、初心者などを対象としたワード、エクセルの研修◇定員：各コース20人◇受講料：無料◇受付期間：2月9日①～20日②※本庁労働政策室または各訓練センター備え付けの研修申込書により受け付け

◎問い合わせ先
本庁労働政策室 ☎28460

より良い教育環境を目指して

◎問い合わせ先
教育委員会教育総務課
☎6592



平成22年度開校に向け校舎建築が進む統合大原小



中里小校舎耐震補強工事



東山中屋内運動場改築工事

市立学校施設整備の状況 (現時点での計画分を含む)

【統合】
18年度…興田小(天狗田・興田・中川・京津畑・丑石)
20年度…一関東中(弥栄・真滝)
21年度…室根東小(折壁・浜横沢)、室根西小(上折壁・釘子・津谷川)
22年度…大原小(大原・内野)
25年度…摺沢小・渋民小・曾慶小

【耐震補強】
19年度…一関小校舎
20年度…中里小校舎、本寺小屋内運動場、老松小屋内運動場、警清水小屋内運動場、薄衣小校舎・屋内運動場、門崎小校舎、大原中校舎
21年度…涌津小校舎、奥玉小屋内運動場、大原中屋内運動場、室根中校舎

【改築】
20年度…山目小屋内運動場、東山中屋内運動場
22年度…萩荘中屋内運動場
23年度…川崎中校舎・屋内運動場

◎懇談会で出された主な意見

- 学習、部活、地域、文化の伝承など、すべてクリアするのは難しいので、子どもたちにとって何が大切かを判断し統合について考えたい。
- 地域の人は地域の学校がなくなるとなれば、統合に賛成と言えないかもしれないが、学校に行くのは子どもたちなので、その教育環境がどうあればいいかを重視したい。
- 小さい中学校もいい面もあるが、大きい学校だと部活動などで選択肢が増える。
- 統合が3年後、5年後となると、今の保護者は関係ないという形になるため、進める上でのスピードも求められる。
- 地域から歩いて通える学校というのも子供たちに必要な環境だと思う。

◎小規模校・複式学級の長所、短所

※複式学級…学校規模が小さい場合、異なる二つの学年を1クラスとする学級編制

	長所	短所
全体的な傾向	○異なった学年との交流が図りやすい。 ○運動会などの学校行事で出場や発表の機会が多い。 ○教職員が全校の児童生徒の実態を把握することができる。	○多様な考えや価値観を持った児童生徒との出会いに恵まれにくい。知的刺激が少ない。 ○互いに切磋琢磨し向上しようとする意欲やたくましさや育てる環境に欠ける。 ○部活動において多様な種類の部が開設できない。 ○運動会、学芸会などの学校行事において種目や演目が限定され、活気に欠けたり高学年に負担がかかる。
教職員	○教師間で指導方針などについて共通理解が得やすい。	○教職員の配置数が少ないため免許外教科を担当することが多く、専門的な指導を受ける機会が不足する。
学習活動	○一人一人に直接的な指導が行いやすい。 ○自分のペースで学習活動に取り組める。	○発想や着眼点が固定され、相互の考えを交流させ新たな発想を得るなどの発展的な学習が成立しにくい。 ○協同で勉強をしたり他の班の発表を聞いて比較する活動が少ない。 ○体育における団体競技種目、音楽における合唱や合奏活動が展開しにくい。



- 1 二日間のツアーを終え、卒業証書を手渡される参加者
- 2 卒業旅行で訪れた狛鼻溪を散策
- 3 ツアー初日、制服のどんぶくを着てもちつきを体験しました

モニターツアー

体験型旅行で魅力発信

体験・交流型旅行により一関の魅力をしっとり味わってもらおうとニューリズムモニターツアー「大人の楽校」寺子屋いちのせきは1月23、24の両日、行われました。

一関温泉郷協議会が主催、市や県、民間事業者が連携して、一関のさまざまな「昔」を味わってもらおうとコースを設定。国土交通省観光庁の「ニューリズム創出・流通促進事業」の助成を受け、旅行会社とタイアップして行われた同ツアーに仙台市近辺から26人が参加。もちつきや骨寺荘園遺跡散策などを楽しましました。

一関生活改善センターに到着した一行は、楽校の制服である「どんぶく」を着用。佐藤育郎校長(いわて東山歴史文化振興会長)から息を合わせてもちをついたためにもちつき歌があるなど一関地方の食文化の説明を受け、白ときねでもちつきに挑戦しました。仙台市から友人5人で参加した堀籠よしえさんは「初めてもちをつきました。が楽しめました」と笑顔を見せ

ていました。

プレわんこもち大会を楽しみ、昼食はもち膳と、もち食に親しんだ一行は、その後一関市博物館テーマ展の見学で当市の歴史を学び、アイスクリームづくりも体験しました。

二日目は骨寺村荘園遺跡の散策でスタート。その後旧沼田家など市街地の史跡を見学し、卒業式会場の世嬉の一酒造へ。佐藤校長が二日間のツアーを終え、皆さんのこやかな顔を見て、おもてなしの心が届いたものとほっとしている。仙台にお帰りになったら、どうぞ一関市の宣伝をお願いしたい」とあいさつし、一人一人に卒業証書を手渡しました。

その後一行は狛鼻溪に「卒業旅行へ。舟下りでは、船頭を務めた千葉幸美さんのユーモアたっぷりの見どころ紹介や、張りのある「げいび追分」の歌声を堪能しました。

名取市から参加した真庭三郎さん(78)、勝子さん(73)夫妻は「一関は通り過ぎたりそれぞれの場所だけを見ることが多かつ



旅の感想を述べた真庭三郎さん(右)、勝子さん夫妻

たのですが、今回はゆっくりと見ることができました。骨寺のことは今まで知らなかったのですが、話を聞き実際に歩いて、とてもよくわかりました。もちつきも60年ぶりに楽しみました。温泉だけでなく、歩いて、見て、体験できるこうした旅行はいいですね。皆さんのおもてなしの気持ちも伝わって、楽しいツアーになりました」と満足した表情でした。

モニターツアーは2月にも行われ、新たな旅行者ニーズを探ることで交流人口の一層の拡大を目指します。





カジカのすむ清流を守ろうと行われている石磨き大会

下内野自治会(大東町)

平成元年に設立し、「かじかの里」をキャッチフレーズに活動している下内野自治会。9年の旧大東町「ふるさとづくり支援事業モデル自治会」1号指定を契機に、地域づくりの方向性を定めた「下内野4WD計画」(※4)老若男女全員で力強く、W水D夢を策定し、活力あふれる地域づくりを行っています。

大会は6年から日本大学との交流を機に実施。カジカがすめるような清流を守っていくこと、自治会員と学生が川に入り、古縄たわしで石を磨きます。さらには地元出身の音楽家による歌「かじかの里」も完成し、豊かな自然環境のシンボルとなっています。そのほか、▽中国遼寧省桓仁県桓仁鎮との国際交流▽日大への田舎教授派遣▽田植え踊りの保存なども行っています。

宅地分譲された土地を購入し、13年に盛岡市から移住した高橋隆二さん(61)は菌床シイタケのハウス栽培を行い、自治会役員も務めています。「田舎暮らしを夢見て全国を見て回りましたが、厚い人情と、造成地でなく畑をそのまま購入できることが決め手で移住。この地に骨をうずめる覚悟です」と同地域の魅力を語りました。

※下内野自治会ホームページ
<http://homepage3.nifty.com/kajikanosato/>

2 団体に認定証が交付

元気なコミュニティ

県が地域活性化に先進的に取り組んでいる団体を認定し広く情報発信しようと定めた「元気なコミュニティ100選」に、市内から大東町の下内野自治会(勝部欣一会長、48世帯)、千厩町第10区自治会(遠藤敏男会長、64世帯)の2団体が選ばれました。代表者らは1月29日、市役所本庁を訪れ、浅井市長に受賞を報告。浅井市長は「自分たちの地域を自分たちで盛り立てていくという皆さんの取り組みが認められ素晴らしい。本当におめでとうございます」と祝福しました。



1月29日、浅井市長(中央)に受賞報告した勝部下内野自治会長(左から3人目)、遠藤千厩町第10区自治会長(右から4人目)など、関係者の皆さん

千厩町第10区自治会

「温故知新」たまご湯の地域づくりをキャッチフレーズに、畑ノ沢鉱泉たまご湯を運営する千厩町第10区自治会は昭和61年設立。鉱泉を所有する海田茂さんの好意により平成11年、自治会で鉱泉水の宅配を開始。好評だったことからリサイクル材料を用いた手作りの浴場と休憩所を建設し、16年から公衆浴場を運営しています。

管理には地域の高齢者が従事。「お肌がすべすべになる」と次第に評判を呼び、19年には年間1万5000人以上が利用しました。管理に携わる高齢者が元気になったのははじめ、各種イベントへの「足湯」の出席により地域の知名度が上がったこと、多

くの注目を集めることで住民が地域に誇りと自信を持つようになったことなど、さまざまな成果が出ています。

「湯元の海田さん、管理担当の老人クラブ、そして地域の皆さんのおかげ。初心を忘れずお客さんを大切に、運営を続けていきたい。今後は若い人たちに活動を引き継いでもらえるような取り組みに力を入れたい」と、遠藤会長は受賞の喜びと今後の抱負を述べました。



「お湯から上がったも体がずつ」とほかほか「ここは普段着の湯治場」と笑顔の常連客の皆さん

元気に100歳

おめでとう100歳

富永はま子さん(一関)

富永はま子さんは1月22日、満100歳の誕生日を迎えまし

た。入所先の特別養護老人ホーム福光園でお祝いの会が催され、親族や施設関係者がはま子さんを囲み、長寿を祝いました。

阿部保健福祉部長がお祝いに訪れ、祝い状などを手渡し祝福。家族を代表し、同居していた長女の夫、文治さん(81)地主町がお礼を述べました。

はま子さんは旧門崎村に生まれ、昭和3年、故郷志さんと結婚。戦争で耀志さんを亡くし、2度の水害にあいながらも商店経営の傍ら子ども5人を育てました。

加藤トシエさん(大東)

加藤トシエさんは1月25日、入所先の介護老人保健施設ほうらいで満100歳を迎え、群馬県から駆けつけた五男の豊さん夫婦や施設関係者らが長寿を祝いました。阿部保健福祉部長が「これからも元気で」と祝い状と記念品を贈呈。豊さん夫婦と施設職員からも花束や記念写真が贈られ、トシエさんは「ありがとうございます」とうれしそうにお礼を述べました。

子7人、孫12人、ひ孫8人に恵まれたトシエさん。字を書くことが趣味で、普段の感謝の気持ちを手紙にしたため、施設の職員に手渡しているそうです。

高橋トシ子さん(一関)

高橋トシ子さん(赤萩)は1月27日、自宅で満100歳の誕生日を迎えました。26日、週2回通っている一関デイサービスセンターで祝う会が行われ、親族や通所者、施設関係者らがトシ子さんの長寿を祝いました。阿部保健福祉部長が「これからも元気で長生きしてください」と祝い状などを手渡し祝福。親族を代表して、米国ニューヨーク市で看護師をしている孫の高橋綾さん(27)が「ずつと元気でいてね」と花束を手渡しました。

現在長男の妻俊子さん(72)と二人暮らしのトシ子さん。自分の身の回りのことは自分で行い、近所の人たちとの語らいを楽しみにしているそうです。

小野寺イツコさん(一関)

小野寺イツコさん(山目町)は入所先の介護老人保健施設湯の里にのへ二戸市で2月1日、満100歳の誕生日を迎えました。イツコさんに代わり、家族が3日、祝い状と記念品を受け取りました。

旧舞川村に生まれ、二十歳ごろ故郷登さんと結婚したイツコさん。子6人、孫16人、ひ孫10人、やしやご3人に恵まれました。

「広報いちのせき」が県「2部門」で入賞



広報紙(左)と写真の入選作品

先ごろ審査が行われた平成20年度岩手県市町村広報コンクールで、広報いちのせきが広報紙の部で奨励賞(参加20点中7席)、写真の部組み写真で3位(参加24点中4席)となりました。入選作は、広報紙が協働のまちづくりを特集した12月1日号、写真が各地域の夏まつりを紹介した9月1日号12-13ページです。

今後とも市民の皆さんに親しまれる広報紙づくりに努めていきますので、取材などへのご協力をよろしくお願いいたします。



1 阿部保健福祉部長からの花束を受け取る富永はま子さん
2 親族から贈られた花束に笑顔で応じる加藤トシエさん
3 贈られた花束を手に笑顔で応じる高橋トシ子さん
4 2月1日にめでたく満100歳を迎えた小野寺イツコさん

4月から便利なコンビニ収納スタート！市税がコンビニでも納付できます

市では4月から、市税をコンビニエンスストアで納付できる「コンビニ収納」を始めます。

これにより、休日や夜間でも市税を納付できます。「平日の昼間は忙しくて、時間が取れない」という場合は、便利なコンビニ収納をご利用ください。

※3月31日以前に発行された納付書は、コンビニでの取り扱いはできません。ご注意ください。

◇コンビニで納付できる市税…▶市県民税(普通徴収)

▶軽自動車税▶固定資産税▶国民健康保険税

◇取り扱い店舗…▶ローソン▶セブン-イレブン▶ファミリーマート▶デイリーヤマザキ▶ヤマザキデイリーストア▶サークルK▶サンクス▶エーエム・ピーエム▶エブリワン▶くらしハウス▶ココストア▶コミュニティ・ストア▶スリーエイト▶スリーエフ▶生活菜家▶セーブオン▶ポプラ▶ミニストップの全国の店舗

◇利用できる納付書…納付書のコンビニ収納欄にバーコードが印字されているもの

※バーコードがない納付書は、コンビニでは納付できません。また、コンビニで使用できる期限が、納付書に記載されています。使用期限を過ぎた納付書などは、裏面記載の金融機関窓口で納付してください。

◇その他…コンビニ収納の開始に伴い、納付書は納期別に一枚ずつの単票(とじられていない状態)となります。納付書に記載されている各納期と使用期限をよく確かめて、ホチキスなどでとじずにお持ちください。

※コンビニで納めるときに、手数料はかかりません。また、納付書の裏面に記載してある金融機関の窓口でも納付できます。郵便局の窓口では、納付できませんのでご注意ください。

◇コンビニで納付できない納付書…▶使用期限を過ぎたもの(裏面記載の金融機関で納付してください)▶20年度以前の納付書や、納付書1枚あたりの金額が30万円を超えるなど、バーコードの印字がないもの(裏面記載の金融機関で納入してください)▶破れたり汚れたため、バーコードを読み取れないもの▶金額を訂正したものや、延滞金欄に金額を記入したもの

◎問い合わせ先…本庁収納課 ☎28261 メールアドレス shuno@city.ichinoseki.iwate.jp

相談

多重債務整理 消費者問題の相談

◇多重債務整理のための消費者救済資金の融資相談：毎週月～金 10時～16時◇弁護士・司法書士による消費者問題相談(予約制)：毎週火・水・金 16時～、毎週水 17時～◇会場：信用生協一関相談センター

◎予約先・問い合わせ先：岩手県消費者信用生活協同組合一関相談センター ☎266031

交通事故でお困りの場合、まずは相談してください

(社)日本損害保険協会では、交通事故の解決にお困りの人の相談に無料で応じています。◇相談日時：月～金 9時～12時、13時～17時(祝を除く)。専門の相談員が相談に応じます。来訪される場合、事前にご連絡ください。◇弁護士相談日：毎月第2・4火(予約制、無料・要面談)◇会場：盛岡自動車保険請求相談センター(盛岡市)◇相談内容：自動車損害賠償責任保険、任意保険の請求など

◎相談先・問い合わせ先：盛岡自動車保険請求相談センター ☎019(651)4495 ホームページアドレス http://www.sonpo.or.jp

の広報「健康コーナー」に掲載しますの、「ご確認ください。」

◎問い合わせ先：一関保健センター ☎2160

申告は正しくお早めに！

◇所得税の申告：2月16日～3月16日◇贈与税の申告：3月16日～3月31日

◎確定申告はe-Taxが便利でおトクです！

○「申告書作成コーナー」から直接パソコン電子申告！

○電子証明書を添付すること

で最高5000円の税額控除

お知らせ

市に提出する請求書について

現在、市が印刷した請求書を希望する債権者に配布し、使用していただいておりますが、今後この請求書を印刷する予定がないため、在庫がなくなるまでの配布とします。

必要な事項が記載されたものであれば、私製の請求書で請求できます。適宜切り替えていただきますよう、ご協力をお願いします。なお、請求書の様式は市のホームページからダウンロードすることもできます。

また、お手元の未使用の請求書については、ご連絡により引き取らせていただきます。◇請求書に必要な記載事項：請求年月日 請求金額 請求内容 請求者の住所・氏名(法人の場合は法人名および代表者名) 請求者の押印(法人の場合は代表者印) 振り込み先金融機関名・本支店名・口座種別・口座番号・口座名義(カタカナ) あて先(一関市長または一関地区広域行政組合管理者一関市長の表示)

◎問い合わせ先：本庁会計課 ☎8281

が受けられます(19年分が20年分のいずれか1回限り)！

○各種添付書類の記載内容を

入力して送信するだけ！

○還付金が3週間程度で受け取れます！

◎問い合わせ先：一関税務署

電話相談センター ☎4205(音声案内で0番を押してください)e-Taxホーム

ページアドレス http://www.e-tax.iwate.go.jp

雪による事故から身を守り

県内では、今年1月中旬に相

次ので屋根の雪下ろし作業中

の転落死亡事故が発生してい

ます。雪下ろし作業は雪の重

みから家を守るために必要な

作業ですが、危険と隣り合わ

せの作業です。

次のことに注意して作業す

るようにしましょう。

○屋根は雪などにより滑りや

すくなっています。足を取ら

れて滑り落ちないようにしま

自分が出したごみに責任を

持ちましょう

日ごろから、市民の皆さん

にはごみの減量化、分別収集

にご協力いただいておりますが、

ごみの出し方についてもう一

度確認しましょう。

○決められたごみ収集日、時間

を守って出しましょう。

○分別方法を守って出しまし

よう。

○粗大ごみなど、ごみ集積所

に出せないごみを出していま

せんか。

○自分の住んでいる地区の決

められた集積所に出しまし

よう。

○自分が出したごみにイ

エローシールが張って残されて

いた場合は、家に持ち帰り正し

く再分別して出しましょう。

ごみ集積所はごみ捨て場

ではありません。ごみ集積所

を管理しているのは、実際に

使用している地域の皆さんで

す。残されたごみを出した人

が持って帰らなければ、地域

の皆さんに迷惑がかかること

になります。みんなで使うご

み集積所だからこそ、気持ち

よく使うために、市民の皆さ

んのご協力をお願いします。

所市民課環境衛生係

一関文化センター利用者日

程調整会議

一関文化センター各ホール

および体育館貸し切り利用の

予約については、利用申し込

みを先着順ではなく、利用者

日程調整会議を開いて受け

付けます。会議は毎月ではな

く、3カ月ごとに開催します。

◇日時：2月26日(水)8時30分

(時間厳守)◇会場：同セン

ター小ホール◇対象年月：21

年9月～11月分◇その他：会

場空き日は2月15日(日)以降館

内に掲示するほか、ホーム

ページ(http://city-bun.com)に

掲載します。利用希望者は、

「会場予約申込書」を2月23日

月までに提出してください。

◎問い合わせ先：同センター

☎2121

子ども予防接種週間

3月1日(土)から7日(土)まで

医療機関で通常の診療時間

に予防接種を受けることが困

難な人を対象に、予防接種を

行います。また、種々の予防接

種に関する相談に応じます。

入園、入学前の健康調査で

予防接種の接種状況を確認し

て、該当する年齢内に接種を

特許2096142号

たくみ21

いしや5号シリーズ

100年保証

特許2003-315436号

超耐震ゼット工法

代表取締役 鈴木勝則

本社 一関市山目字館67-16 TEL0191-25-3003

平泉支店 TEL0191-34-2300 花泉支店 TEL0191-82-1199

岩手の銘柄

奥州いしや

株式会社 オヤマ

〒029-1201 一関市室根町折壁字愛宕下161

☎0191(64)3511・FAX(64)3515

KK-oyama@ceres.ocn.ne.jp

厚生労働省認可法人 つば整体師教育振興協同組合

(東北厚発第0315006号)

東洋医学研究学院

北上校/花巻校

北上市大通2-3-5(駅から徒歩3分)

お問い合わせは北上校まで

TEL0197-62-3295 定休日

水曜

■初心者でもわかりやすく

■学びやすいシステム

■都合のよい日時に何時間

でも受講可

■短期8日間コース有

■土・日も夜10時迄

■分割可

■年齢不問

“癒しの技術をあなたの手に” ボディーセラピスト・フットセラピスト受講生募集中!! (資格認定書授与…全国どこでも民間資格で就職・開業できます)



ボディーセラピストコース ¥148,000 ※その他フットセラピストコース有

※広告に関するお問い合わせは、総合広告社 ☎019(629)6370まで。



上／舞台部門市長賞の弥栄小いやさか太鼓。気迫いっぱいのはちさばきで勇壮に演じました
左／感性豊かな作品が光った展示部門

豊かな情緒と感性を磨く

NPO法人一関文化会議所が主催する第1回“夢・未来”子ども文化祭は1月24、25の両日、一関文化センターで催され、中学生以下の子もたちが絵画・書道などの展示部門や伝統芸能、合唱、舞踊などの舞台部門で、日ごろの芸術文化活動の成果を発表しました。

書道80点、絵画94点、発明クラブ展示品21点が出展された展示部門。書道では力強く「科学」を書き上げた千葉衣央さん(山目中1年)が、絵画では「牛のおせわ」を楽しく描いた及川恵さん(猿沢小2年)がそれぞれ市長賞に輝きました。

25日、14団体が出演した舞台部門は、「田村屋台囃子」などを勇壮に演奏した関が丘太鼓でスタート。キッズコーラスたんぽぽはそれぞれの出演者の独唱も交えながら、「ドレミのうた」など6曲を披露し、歌う楽しさを体全体で表現しました。市長賞には、息の合った力強い太鼓の音色を響かせた弥栄小学校の「いやさか太鼓」が選ばれました。

ほっとNEWS

こんなこと
ありました



「住民が地域を思う気持ちが大切」と力説する櫻井准教授(右)

住民主体の地域づくりを

東山町田河津地区の束稲自治会(前田眞会長、53世帯)、丸木自治会(佐々木欽一会長、39世帯)が主催する協働のまちづくり集落講演会は2月1日、束稲生活改善センターで催され、約30人が参加しました。

櫻井常矢高崎経済大学地域政策学部准教授が「これからの地域づくりに求められるもの」と題し講演。自身がかかわった協働の取り組み事例を紹介しながら、住民主体の地域づくりについてわかりやすく語り掛けました。講演後の質疑応答では、地域の問題について活発な意見が交わされました。



はだして元気に相撲を取る園児たち

ハッケヨイ、ノコッタ!

門崎保育園の相撲大会は1月29日、同園で行われました。冬場の体力作りにと行われているもので、この日は「門崎場所千秋楽」と銘打って、今シーズン最後の取り組みが行われました。園児たちは自分で考えたしこ名「りぼんみなみやま」「はくおうだいきやま」などのゼッケンを付け、東西に分かれ対戦。マットに作られた土俵の前で一礼すると、行司の「ハッケヨイ、ノコッタ」の掛け声で、勢いよく体当たりしていました。応援に駆けつけた家族は、はだして元気に飛び回る豆力士に拍手と声援を送っていました。